

科目名	中国語Ⅱ				担当	入安 ムニレ		
形態	演習	単位数	1	開講時期	2年後期	実務経験	—	
必修	—				ナンバリング	KE106	DPとの 関連	(幼) 1 (総) 1
授業概要	前期で習った中国語の基本知識を確実に把握し、その上中国語の読み、書き能力の向上を図る。そのために、少し複雑な文の構成及び文の実際応用について学習する。							
到達目標 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国語の仕組みをきちんと理解し、説明できる</li> <li>中国語の構造を把握し、基本的中国語を表現できる</li> <li>中国語の読み、書きを理解し、一般的中国語を和訳することができる</li> </ul>							
授業計画	回	内容						
	1	中国語の形成、字の簡略化	中国語の形成、簡略化、日本語漢字との関連					
	2	文の構造、連体修飾語＋中心語	単文構造、各成分の役割、連体修飾語、中心語の理解					
	3	主語＋目的語、主語＋述語①	主語、目的語、述語（動詞）の構成と使い方					
	4	〃 ②	主語、目的語、述語（動詞）の構成と使い方					
	5	動詞＋目的語、動詞＋補語①	動詞、目的語、補語の構成と使い方					
	6	〃 ②	動詞、目的語、補語の構成と使い方					
	7	文構造の総合演習	単文構造の総合理解と演習					
	8	連動文	連動文の構成と使い方および実例演習					
	9	連鎖文	連鎖文の構成と使い方および実例演習					
	10	疑問文の作り方①	疑問文の構成と使い方および実例演習①					
	11	疑問文の作り方②	疑問文の構成と使い方および実例演習②					
	12	否定文の作り方	否定文の構成と使い方および実例演習					
	13	複文の作り方	複文の構成と使い方および実例演習					
	14	複雑文の総合演習	疑問文、否定文、複文等の総合演習					
	15	まとめ	まとめ・試験					
評価基準	中国語の基礎コミュニケーション能力の把握程度を基準とする							
評価方法	授業態度 20% 授業内試験 60% その他 20% (演習)							
フィードバック 方法								
アクティブ ラーニング	調べ学習							
教科書	尹景春(著)、竹島毅(著)、竹島金吾(監修『中国語さらなる一歩』白水社							
参考書	必要に応じて紹介する							
履修条件	「中国語Ⅰ」を原則受講していること							
授業外学習	事前学習：新出単語、本文を3回以上朗読する(1時間) 事後学習：授業後に録音を活用してリスニングを行う(1時間)							
オフィスアワー	授業の前後の時間							